

令和2年5月22日

東京都議会自由民主党

幹事長 鈴木 章浩様

東京都学校給食麺協同組合

理事長 宮原 博幸



緊急要望書

平素より、東京都学校給食麺協同組合にご支援、ご協力を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて、令和2年2月28日付け元文科初第1585号による「新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業について」を受け、文部科学省は、令和2年3月10日に臨時休業中の学校給食休止に係る保護者の負担軽減及び学校給食関係事業者への「違約金等」の支援事業である「学校臨時休業対策費補助金」を創設しました。

しかし、その後も新型コロナウイルス感染症は、高水準で推移して令和2年4月7日、国において新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づく緊急事態宣言が7都府県に発令、16日には、対象地域が7都府県から全国に拡大することとなり、5月6日までの期間となりましたが、この期間もさらに5月31日まで延期となり学校臨時休業措置に伴い学校給食休止期間も3ヶ月間となりました。

このように大変厳しい状況の中、特に学校給食調理業者（めん最終加工納品業者）である当組合員は、「学校臨時休業対策費補助金」の対象期間である3月発注分を請求させていただいておりますが、全都でのお支払いには至っておりません。

また、4月及び5月と学校臨時休業に伴う学校給食休止期間中は、事業者への「休業要請」と何ら変わらず、収入が大きく減少し倒産、廃業の危機に陥っております。東京都学校給食用めん加工委託工場選定基準を満たす工場は限られており、このままでは今後の学校給食めんの安定供給に支障を来すこととなります。

東京都におかれましては、このような状況を勘案いただきまして、下記緊急要望にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

記

学校給食調理業者（めんの最終加工納品業者）である東京都学校給食麵協同組合（傘下事業者21社）の3ヶ月間の学校臨時休業措置による学校給食の休止は全組合員が資金繰り等、過去にない厳しい経営状態に陥っております。今後、給食再開時に全組合員が学校給食の主食であるめんの安定供給を行っていくためにも、下記の緊急要望に対しまして特段のご配慮をお願い申し上げます。

【緊急要望事項】

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」による新たな緊急支援事業の創設について

令和2年3月の1ヶ月の臨時休業中の学校給食休止に係る学校給食関係事業者への補填につきましては、前述の「学校臨時休業対策費補助金」を充てることとしていましたが、10数区市が補助金の主旨を十分に理解していただけない状況にあり、3月分の補助金の実行性も揺らいでいる状況にあります。

その上、4月及び5月の2ヶ月間は、前述の補助金は該当せず支援策は皆無となります。

そこで、この度は、全都の約2,000校の学校にめん（ゆでめん・生めん・むし中華めん・ゆで中華めん・生中華めん・生パスタ・ワンタンの皮）の供給を行っている当組合（東京都学校給食麵協同組合21社）といたしましては、この2ヶ月の支援を東京都に「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による交付対象事業「Ⅱ雇用の維持と事業の継続」に基づき学校給食調理業者（めんの最終加工納品業者）である東京都学校給食麵協同組合に対し、新たな支援策の創設等ご尽力を賜りますようお願いいたします。

以上、将来に向けて学校給食麵の安定的な供給を図り、児童・生徒の健全な心身を育むために学校給食調理業者（めんの最終加工納品業者）に対する新たな事業実施計画の策定等について至急検討いただくよう要望いたします。